

倶多楽火山

○熱水の化学組成から推定された深部熱水温度の経時変化

大正地獄の熱水組成から推定される深部熱水温度は、噴騰開始直後から約1年にわたって250～230℃を示していたが、最近はやや低下し、230℃前後の温度で推移している。

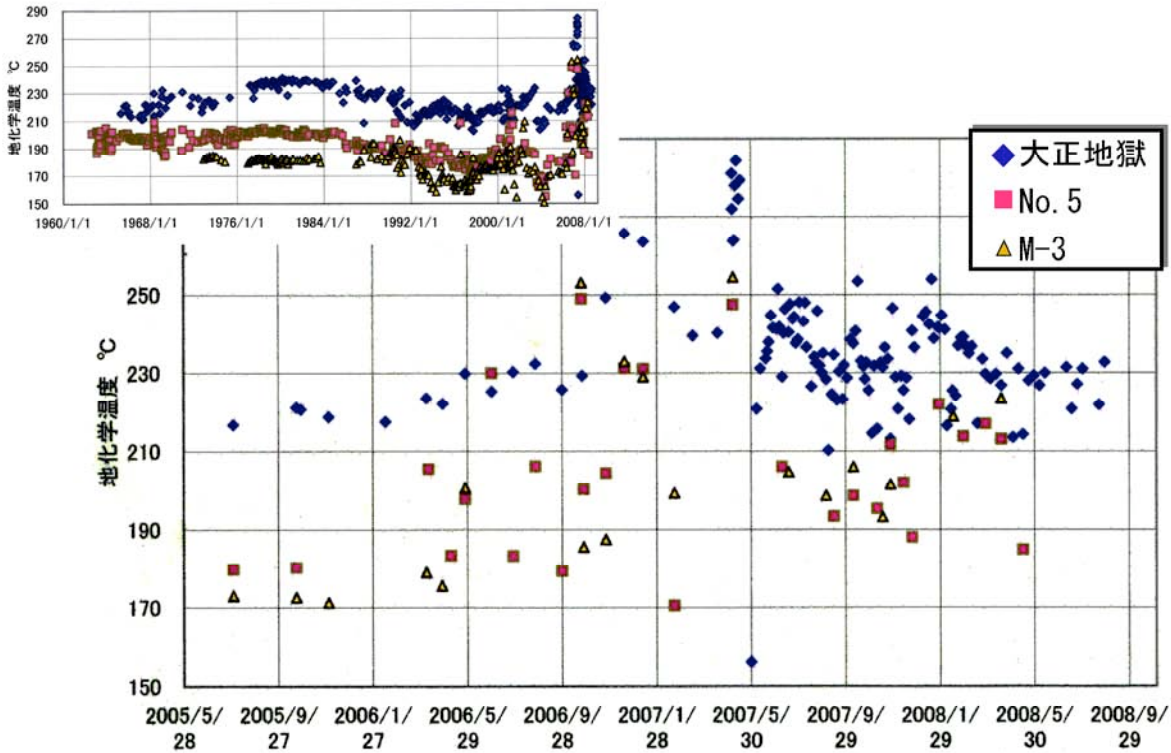
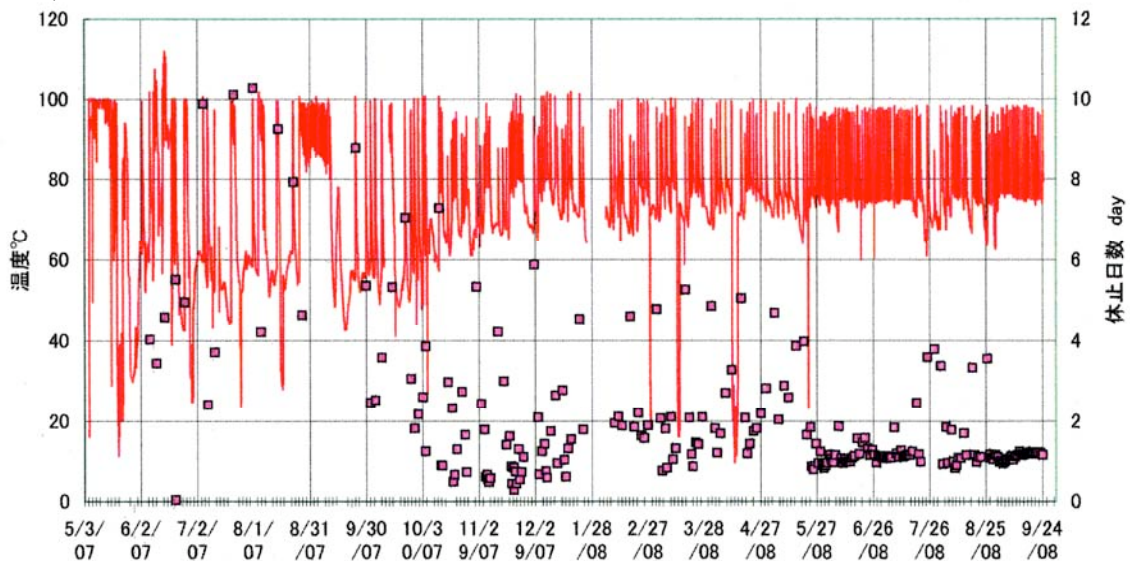


図1. 代表的な高温・高塩化物泉である大正地獄, No. 5, M-3 泉源の化学組成から推定された深部熱水温度 (Na-K-Ca化学温度計)

○熱水温度と休止時間の時間変化

本年5月末以降、時折、休止時間が長くなることもあったが、噴騰活動は約1日間隔で繰り返され、この状態は現在も継続している。また熱水の最高温度は95℃前後、最低温度が75℃前後と、それらの変動も小さい。



(安孫子・大島)

図2. 熱水温度と噴騰活動休止時間の経時変化

倶多楽火山